

2019年10月20日

植物界の「災害遺産」ミズアオイを知る連続ワークショップ 第二回

特定非営利活動法人 日本ビオトープ協会

本日のスケジュール

- 9:40 荒井駅北側で津波堆積物観察、土壌採取。
- 11:10 荒井駅に移動。マイカーのかたはせんだい農業園芸センターへ移動。
- 11:59 発 仙台市営バスでせんだい農業園芸センターへ移動。
- 12:06 着 せんだい農業園芸センター。各自昼食。
- 13:00 埋土種子分析。会場は研修室2。
- 15:00 頃 解散

植物は時間的リスク分散の手段として休眠し、地中に埋土種子集団(シードバンク)を作ります。この埋土種子から、過去の植生を復元したり、現存集団の遺伝子多様度を増やしたりすることができます。今回は、津波によって復活する(あるいは復活した)可能性のあるミズアオイの埋土種子を探します。

埋土種子分析の手順 (二人一組)

1. 土を少量、手付きザルに入れて、蛇口で洗いながらボウルで受ける。手付きザルに残ったものは捨てる。
2. ボウルに溜まったものを、アク取りで濾す。
3. アク取りに残ったもの(残渣)に、洗淨びんで水をかけて、細かい汚れを落とす。
4. 洗淨びんで水をかけながら、残渣を保存パックに入れる。
5. ピンセットや柄付き針を使いながら、土と種子を区別する。ルーペも随時用いる。
6. 種子らしいものをシャーレに取り、実体顕微鏡で調べる。見つかったらチャック袋に入れる。

【種子画像】

コナギ 長さ 1mm

ミズアオイ 長さ 1.3mm

図 ミズアオイとコナギの種子。縮尺は合わせてあります。長さは平均値。

ワークショップ・ウェブサイト

<http://p-www.iwate-pu.ac.jp/~hiratsuk/190908/text.html>

